

農林水産業・食品産業の現場の新たな作業安全対策に関する有識者会議（第1回）

（令和2年2月25日（火））

参考2 飛山委員提出資料

全 国 森 林 組 合 連 合 会

令和2年2月

農林水産業・食料産業の現場の新たな作業安全対策に関する有識者会議

1 労働災害の発生率（死傷年千人率）

業種別死傷年千人率（休業4日以上）の推移 平成24年～30年

項目	全産業	製造業		鉱業	建設業	運輸業		林業	農業	漁業
		計	木材・木製品			計	陸上貨物 運送事業			
平成24年	2.3	3.0	13.1	9.9	5.0	6.3	8.4	31.6	5.7	15.0
平成25年	2.3	2.8	11.4	12.0	5.0	6.3	8.3	28.7	5.4	9.9
平成26年	2.3	2.9	12.3	8.1	5.0	6.4	8.4	26.9	5.2	6.3
平成27年	2.2	2.8	11.2	7.0	4.6	6.3	8.2	27.0	5.2	8.0
平成28年	2.2	2.7	11.0	9.2	4.5	6.3	8.2	31.2	5.1	8.9
平成29年	2.2	2.7	9.9	7.0	4.5	6.5	8.4	32.9	4.9	8.1
平成30年	2.3	2.8	10.9	10.7	4.5	6.8	8.9	22.4	5.2	7.4

資料出所：労働者死傷病報告及び総務省労働力調査

注1) 年千人率とは、労働者1,000人あたり1年間で発生する死傷者数を示すもので、次式で表される。

$$\text{年千人率} = \frac{\text{1年間の死傷者数}}{\text{1年間の平均労働者数}} \times 1,000$$

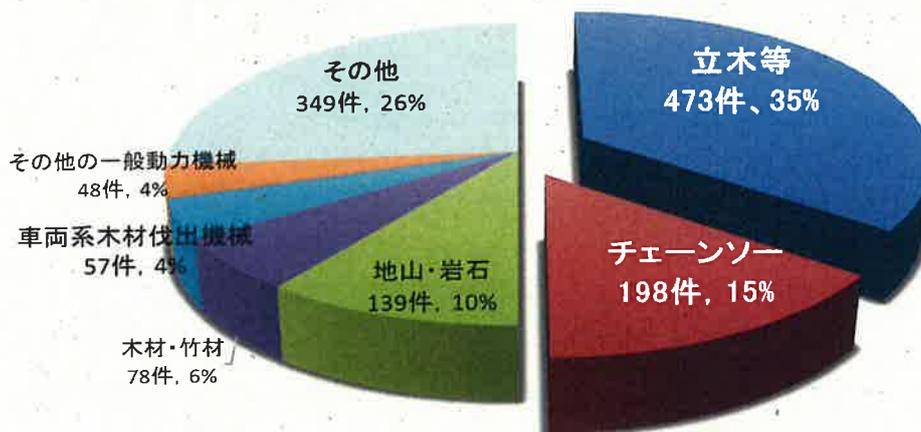
注2) 死傷者数は労働者死傷報告による休業4日以上の死傷者数。労働者数は労働力調査（総務省）による雇用者数（役員除く）を用いて算出した。平成23年については、東日本大震災の影響により、岩手県、宮城県及び福島県において労働力調査の実施が一時困難となったため労働者数は役員を含む補正的推計した。

注3) 平成23年の死傷者数は東日本大震災を直接の原因とするものを含まない。

注4) 労働力調査の雇用者数は万人単位で公表されているが、年千人率は有効数字に関わらず、数点以下第1位まで算出した。

(参考)

死傷災害 起因物別の状況 (平成30年)



主な起因物は「立木等」「チェーンソー」

単位：人，全体(1,342人)に占める割合(%)

出典：労働者死傷病報告(厚生労働省)

2 「緑の雇用」事業の体系

STEP 1 就業ガイダンス

林業への新規就業の確保に向け、東京、大阪などで幅広い世代に働きかける就業ガイダンスを実施。

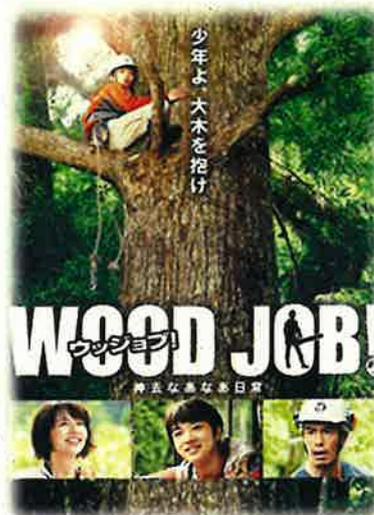
STEP 2 トライアル雇用

林業就業希望者が、仕事や職場に合っているか試す3ヶ月間の就業。（本格就業前）

STEP 3 林業作業士（フォレストワーカー）研修

新しく林業の仕事をはじめた方対象。

OJT研修や集合研修を通じて、基本姿勢や基礎力を習得し、一人前の現場技能になる能力を身につける。



時期	集合研修	実地（OJT）研修
1年目	28日程度の座学と学習 林業作業の基本 【研修中に取得する安全講習等】 ・刈払機取扱作業 ・伐木等の業務（チェーンソー作業） ・玉掛け技能講習 など	8ヶ月
2年目	29日程度の座学と学習 1年目の内容の確認・応用 【研修中に取得する安全講習等】 ・不整地運搬車運転技能講習 ・荷役運搬機械によるはい作業従事者 ・機械集材装置の運転業務 など	8ヶ月
3年目	21日程度の座学と学習 基礎力の向上・大型機械を使用した林業作業 【研修中に取得する安全講習等】 ・簡易架線集材装置の運転業務 ・伐木等機械の運転業務	8ヶ月

STEP 4 現場管理責任者（フォレストリーダー）研修

作業班長候補者など経験を積み職務力がついてきた方対象。

判断力・指導力向上、現場作業管理などを学び、現場での管理・責任を担える能力を身につける。

時期	集合研修	実地（OJT）研修
林業就業経験通算 5年以上	16日程度の座学と学習 【研修中に取得する安全講習等】 ・造林作業の作業指揮者 ・はい作業主任者 ・地山掘削及び土止め支保工作業主任者	無し

STEP 5 統括現場管理責任者（フォレストマネージャー）研修

複数班の統括など現場全体の管理責任能力を身につけたい方対象。

コミュニケーション能力向上、林業の社会的使命、企画・営業・販売などを学び、林業現場の統括管理責任を担える能力を身につける。

時期	集合研修	実地（OJT）研修
林業就業経験通算 10年以上	10日程度の座学と学習 【研修中に取得する安全講習等】 ・安全衛生推進者要請講習	無し

3 技能検定への取組み

林業団体 7 団体が構成員となって
林業技能向上センターを設立

構成員

- (1) 全国森林組合連合会
- (2) 一般社団法人 日本林業協会
- (3) 全国素材生産業協同組合連合会
- (4) 全国国有林造林生産業連絡協議会
- (5) 一般社団法人 日本林業経営者協会
- (6) 日本造林協会
- (7) 全国山林種苗協同組合連合会

林業の技能検定試験 (国家検定) の構築に向けて活動中

○林業従事者の技能向上を目指す



実施機関：都道府県、都区内保健福祉能力開発協会、指定試験機関
実施作場：中央職業能力開発協会、指定試験機関
開発所管：厚生労働省



あしたを拓く人を創る
厚生労働省 人材開発総局

4 第4回日本伐木チャンピオンシップ2020



Japan Logging Championships 第4回日本伐木チャンピオンシップ2020

JLC(日本伐木チャンピオンシップ)は、全国の林業従事者の中から、伐木の腕に覚えのある方々が「安全性・正確さ・スピード」を基準に、5つの競技種目でその技術を競う大会です。また、2020年9月にセルビアで開催されるWLC(世界大会)の日本代表選手を選出します。

第4回JLC
出場選手を
募集中!

開催日程

2020年5月16日(土)▶17日(日)
(予選会) (決勝大会)

開催場所 **モヤヒルズ** (青森県青森市)

※5月15日(金)に、青森市内で開会式を行います。

選手登録申請期限
2019年11月30日迄

※当日
消印有効

第4回JLCに出場を希望する方は、
公式HPより選手登録を行ってください。

日本伐木チャンピオンシップ で検索



「緑と水の森林ファンド」助成事業(公益社団法人 国土緑化推進機構)

主催: 日本伐木チャンピオンシップ実行委員会 事務局: Jforest 全国森林組合連合会 系統機械化情報センター